

劇遊び「そら組たんけんたい」

令和8年2月16日

尼崎市立小園幼稚園

作品展で森の迷路をつくり遊んだことから森の探検隊の遊びが始まりました。好きな遊びの時間に探検隊の帽子や道具をつくり地図を見ながら探検をしていました。オオカミになる人が出て来て、探検隊はオオカミにつかまらないような作戦を考えました。オオカミ対探検隊の遊びを毎日楽しんでいました。



ある日、森の迷路に手紙がありました。



ごっこ遊びから劇遊びへ



劇遊びのねらい

- 役柄に合った表現や言葉を自分で考えて、体や言葉で表現することを楽しむ。
- 友達と思いや考えを伝え合い、共通の目的に向かって劇遊びを進めていくことを楽しむ。

お話について

森の迷路に手紙が届きました。文章の途中が破れていて何と書いてあるのかが分かりません。

そら組の子ども達は不思議に思いました。翌日、紙切れと地図が見付かりました。“危ないところ”を仲間と力を合わせて通って行くと宝物があるということでした。そら組の子ども達は、探検隊になり仲間と力を合わせていくことにしました。

クラス全員で“危ないところ”とはどんなところなのかを想像し、考えを出し合いました。

へびがいるんじゃない？

オオカミがいると思う

落とし穴じゃない？

木が倒れてる？

石が落ちてくる？

橋がグラグラしてる？



チーム活動開始！

チーム活動は…

クラス全員で考えを出し合った後、自分だったらその中のどの“危ないところ”に行ってみたいかを選びました。同じ場面を選んだ友達とチームになり“危ないところ”を具体的に一枚の紙に一つのペンでかき、必要な道具をつくりました。次にどうやって“危ないところ”を通って行くのか方法を考えました。そして、チームの場面で役を交替しながらやってみました。決めたことは自分達で確かめられるように、教師が“ふせん”に書き留めておきました。また、他のチームの友達に見せ「面白かったよ」「もっとこうした方がいいよ」と意見を言い合うことでお互いのチームがよくなっていく姿がありました。

チーム活動とは

友達と同じ目的に向かってものごとを進めていく経験は、この先ずっと社会に出てからも大切な力です。

作品展でのチーム活動や好きな遊びの中で友達と遊びのルール作りをしていることなどから、今のそら組の子ども達ならできると考えました。子ども達だけでは難しいところは教師も一緒に考えたり、子ども達の話をつないだりしながら進めていきました。

チーム活動での約束は

- 1、自分の考えを言うこと
 - 2、友達の話をよく聞くこと
 - 3、みんなが「いいよ」と了解してから進めること
- です

なかなか進まなかったり、言い合いになったり、やる気がなくなったりと困ったこともありましたが、諦めずに取り組む姿がたくさん見られました。

オオカミがいて危ない



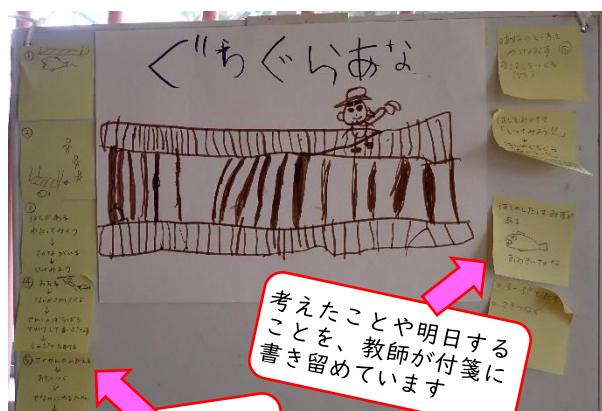
ビニールを使うことはすぐに決まり、「こうやって（体に）巻く？」「切ったら中に入れるんちゃう？」など、それぞれ自分の衣装をつくるけれど、つくり方について考えを出し合っていました。その後「先生、オオカミはモフモフやから、作品展の時に使ったモフモフ使いたいねん」と以前の経験を思い出し教師に言いに来ました。モフモフを付けたらオオカミらしくなり満足！



好きな遊びの時間の探検ごっこでもオオカミになって遊んでいたので、作戦はすぐに決まり、衣装が出来上がると、自分達でオオカミと探検隊に役割分担して何度もやってみていきました。



グラグラの橋が壊れていて危ない



素材置き場にある物から、自分達のグラグラの橋に使えそうな素材を選んで、試しています。



作戦どうしよう

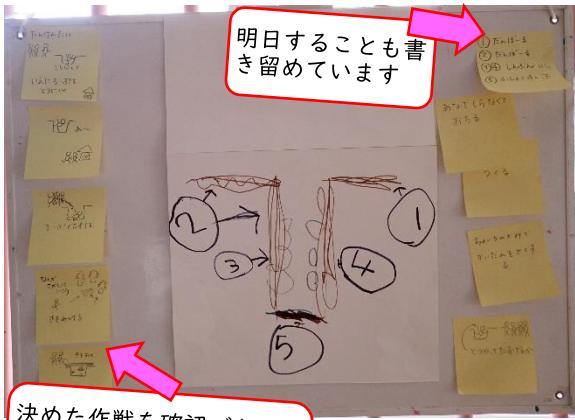
橋が出来上がり、今度はどうやって通って行くのかを考えます。なかなかいい案が出てこなくて、おうちでも考えてくることに。「誰かがこうやってその上を歩くねん。でも、乗ったら痛いから横を通るってことは？」「ああ！いいねえ！」



橋の支柱が倒れてしまい、困りました。「もう1本づつ付けたら立つんちゃう？」と2本の棒を紐でくくりつけています。その後、それでも倒れるので以前やったことがある“旗立台を中に入れる”という方法を思い出し、立てることができました。



落とし穴があつて危ない



決めた作戦を確認できるよう、教師が付箋に書き留めています



倉庫でいいものを発見！
うまくいきそう！

初めは穴をどうやってつくるかなかなか決まりませんでした。段ボールを穴にすると決めると次は“落ちるよう”を考えました。実際に乗っても大丈夫な積み木を使うことにしました。積み木とダンボールの高さを合わせるために段ボールカッターで切る人と積み木を土らしく不織布を貼り付ける人で分担しています。

穴に落ちた人をロープで助けることはうまくいきましたが、向こう側に行くことはできません。細い棒を木に見立てて渡ろうとやってみますが、グラグラで落ちそうです。

木が倒れていて危ない



決めた作戦を確認できるように、教師が付箋に書き留めています

倒れている木は素材選びもつくのも早く、協力してつくっていました。



アイデアはいっぱいかかる物とつくれない物付けています。

倒れている木をのこぎりで切ることに決めましたが、つかったのこぎりでは本当に切れません。どうしよう。困っています。



木がうまく立てられなくて困っていました。「下の所からなんか立つやつ入れたらいいんちゃう？」とアイデアが出てきました。「やった！立った！」苦労した後の喜びです。



いいこと考えてきた。うまくいくかな？2人でやってみよう！本当に切れるのでしょうか

宝物を見つけるぞ！

4つのチームは無事に危ない所を通ることができたのでしょうか？そして森の奥深くにある宝物を見付けることができたのでしょうか？無事に通れた後に見付ける宝箱をチームでつくっています。「どの箱にする？」「段ボールが見えないようにしよう」「中の宝物は何にする？」「5人チームだから宝物5コね！」チームで伝え合い一つのものをつくる姿が見られました。



セリフについて

決まったセリフはありません。特にチームの場面では、自分達の場面の流れに合った言葉をそれぞれが話します。子ども達は、演じているようで、場面の中で遊んでいるので、毎回違う言葉が出てきたり、同じ言葉でも違う人が言ったりしています。

仕事について

自分達の大道具を出し入れや全体の場面での道具の出し入れなどをします。

座席について

チームの座る場所は決まっています。お子さんに何のチームか聞いておいてください。遊戯室の真ん中に出て来て演技などをします。座っている時の様子も見てくださいね。

